

学校名	信州新町小学校		
ホームページURL	児童・生徒数 311 名		
(1) テーマ 全校テーマ「光と花と星の里に育つ子ども」 ～町ないめぐり～ テーマの分類 (①ーオ ③)	(2) 活動の単位に○をつけてください 学級 ・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他 () 該当学年 3 年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい バス通学者が多い信州新町の子どもたちが、普段は通り過ぎていた町内の様子をくわしく見学することを通して、自分たちの町の自然や暮らしの様子に新たに気づいたり、社会科「わたしたちの町のようす」の学習をさらに深めたりしながら、追究の課題をもつきっかけにしたい。			
(4) 活動の実際 (活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 自分の調べてきたことを役場に問い合わせたり、家の人に聞いたり、図書館に調べたりして新たな発見をした。自分でまとめた上、行った場所ごと班でまとめていって、全校の前で発表した。 時数 (45)			
(5) 指導体制 (校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) 社会科の学習の発展として学年で進めた。見学場所は子どもたちの知っている場所や町の主な農業・工業・商業・観光など主な地域を回れるようにし、信州新町の特色がある所を選んだ。それぞれの見学地には、あらかじめ児童の願いに添った内容での説明をお願いした。			
(6) 指導上の留意点 (時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) 社会科と総合的な学習の時間を一緒にして進めていった。見学前にグループごとに準備し、見学後、お礼の手紙を書いたり、グループごとにまとめたりした。学習の様子を家庭にもお便りでお知らせし、ご家庭で知っている町の特色を子どもの願いに添って話をさせていただくようにお願いした。			
(7) 評価 (基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) 「町ないめぐり」を行う準備や見学中の姿 (つぶやき、発言、メモ)、個人のまとめ方、グループで模造紙にまとめたもの、発表の練習の様子などから総合的に評価をした。			
(8) 成果と課題 子どもたちも自分の近くの地域のことなので、興味関心の度合いが高いようであった。見学場所でも自分の知っている人が働いていたり、自分の知っているところだったりで、身近に感じる事ができたようであった。社会科と併せて進めたが、時数計算上、社会科とするか「総合の学習の時間」とするか判断が難しいところがあった。			

※テーマの分類 ①横断的・総合的な課題 (①ーア 国際理解 ①ーイ 情報 ①ーウ 環境 ①ーエ 福祉・健康 ①ーオ その他) ②児童生徒の興味・関心に基づく課題 ③地域や学校の特色に応じた課題